のびがいのにじたコミュニケーシ

ョンののにする（）

は、であるとなるであり、やの、をってにするである。

ろうにとっては、を、コミュニケーションを、おいのちをしうために、また、をえ、をするためになとして、にまれてきた。

しかしながら、ろうにおいてやのをとするがされたことにより、はとしてめられず、をできるもえられてこなかった。

そのため、ろうはなをることも、にコミュニケーションをることもできず、においてのやをじながららしてきた。

、「のにする」や「」において、はとしてけられるようになったものの、におけるにするやのは、とはえないにある。

こうした、７６に「」がされ、が「なの」であること、また、やにはのや、などにりむがあることがされた。

このようなことから、がであることをし、がいのにじたなコミュニケーションののをることにより、てのがおいのとをしいながら、らしくかにらすことができるのをし、このをするものである。

()

１　このは、がであるとのにづく、のびのにじたコミュニケーションののにするをめ、のびにびのをらかにするとともに、がするをめることにより、てのがおいをし、してらすことのできるのにすることをとする。

（）

２　このにおいて、のにげるのは、それぞれにめるところによる。

(1)　ろう　にがいのあるのうち、をとしてし、びをむをいう。

(2)　がい　がい、がい、がい(がいをむ。)、そのののがい(「がい」とする。)があるであって、がいびによりにはになをけるにあるをいう。

(3)　　においてをうはそののをいう。

(4)　がいのにコミュニケーション　、、、、、、、、、、(によりするものをいう。)、な、、コミュニケーションボード、がいそのがいがとのコミュニケーションをるためのをいう。

(5)　な　がいが、がいのないとのをするためにわれるかつなはであって、なでされるをいう。

（）

３　のびがいのにじたコミュニケーションののは、のが、がいのによってけてられることなく、にとをしうことがであるとののにわなければならない。

２　のは、がとはなるのをするであって、ろうがはをむためににけいできたであるとののにわなければならない。

３　がいのにじたコミュニケーションののは、がいのにじたコミュニケーションをがいらがし、できることのをびがし、そのののびののがられることをとしてわれなければならない。

（の）

４　は、にするにのっとり、のびがいのにじたコミュニケーションののにおいて、なをするものとする。

２　は、そのはをうにあたり、がいのにじたコミュニケーションをできるようにするためのかつなをうものとする。

（の）

５　は、にするをめるとともに、がするのびのにじたコミュニケーションののにするにするものとする。

（の）

６　は、にするをめ、がするのびがいのにじたコミュニケーションののにするにするようめるとともに、にじたコミュニケーションをできるようにするためのかつなをうものとする。

(のび）

７　は、４のにづき、のにげるをするものとする。

(1)　のびがいのにじたコミュニケーションののにする

(2)　がいのにじたコミュニケーションによるのにする

(3)　がいのにじたコミュニケーションをしやすいのにする

(4)　がいのにじたコミュニケーションをする（）のびにする

(5)　にげるもののほか、こののをするためにな

２　は、にげるのにたっては、（４５８４）１１３のによりするとのをるとともに、がいそののをき、そのをするものとする。

（）

８　は、のびがいのにじたコミュニケーションののにするをするため、なのをずるようするものとする。

（その）

９　このにめるもののほか、こののにしなは、がにめる。

このは、８４１からする。